



☆第1部作
8月8日(土)18時

☆第2部作
8月9日(日)18時

☆第3部作
8月12日(水)
①14時②18時

ところ

岡山シティミュージアム
(岡山市北区駅元町 15-1)

チケット (各日とも)

大人 500円
中・高・大学生 300円
(小学生以下無料)

三部作 一挙上映!
映画
はだしのゲン
上映



第1部作



わんぱく少年ゲンの姿を生き生きと描きながら、戦争のむごさと原爆の恐ろしさを、まざまざと刻みつけて大きな反響を呼び起こしている中沢啓治原作の劇画「はだしのゲン」注目の劇映画作品。

8月6日、午後8時。ゲンはいつものように、学校へ行く途中、B29があらわれた。瞬間、強烈な白い閃光が走り、つづいて巨大なきのこ状の雲がいきなり広がった。ちょうど塀の影にいたゲンは、運よく助かったが、街は猛火と黒煙の中で、その姿を一変させていた。

第2部作



涙の爆発

終戦直後の広島市を中心に、わんぱく少年ゲンと原爆孤児たちのバイタリティあふれる生き様と差別を生み出す被ばくの残酷さを告発している。

ゲンは、原爆によって父大吉、姉英子、弟進次を失い、ゲンにも原爆症が現れ、頭の毛が抜けて丸坊主になってしまった。被ばく直後に母の君江は女の子を出産し、友子と名付けた。

第3部作



ヒロシマのたたかい

ゲンは母や兄弟を励まして古い防空壕を利用して作った仮住居の中で生活を始めた。

久しぶりの学校で、ゲンと友達の道子は原爆後遺症の脱毛症のためにいじめられる。くじける道子をかばうゲン。妹の友子はすでに原爆症におかされていた。

戦後 70 年 . . .

原爆・戦争の記憶は年々薄れていっています。しかし、この瞬間にもどこかで子どもたち、人々の尊い命が奪われています。

失われた命の重さを考えるとき、何も知らなくて平和は語れません。

私たちが平和のためにできることは何か？改めて家族で、みんなで『平和』を考えてみませんか？



シミュリアム

岡山空襲展示室見学(ガイド付)

8日・9日

①17:00~17:30

12日

①13:00~13:30 ②17:00~17:30

岡山空襲に関する資料や写真をはじめ、アメリカ軍が作成した文書や写真、空襲を体験された方々の証言等を展示し、空襲がどのように行われ、どのようなものであったのかを紹介します。

【お問い合わせ先】 岡山市職員労働組合 〒700-8544 岡山市北区大供 1-1-1 岡山市役所内
電話 086-232-9714 FAX 086-232-5317 E-mail sisyoku@icity.or.jp